

標記の件について、下記の通り報告します。

記

提出年月日 7 年 3 月 24 日

プログラム No.		プログラム名称	先進工場見学
学 科 名	農業機械科	担 当 者 名	小玉 哲
参 加 生 徒	2 学 年	延 べ 人 数	14 名
実 施 会 場	トヨタ自動車東日本株式会社 大衡工場		
実 施 目 標	① 先進企業の視察研修を通して最先端技術を意欲的に修得する態度を養う。 ② ③		
実 施 内 容	① 組立工場、車体工場の製造ラインを見学した。 ② 組立工場では各製造ラインで部品の取り付けをおこなっていた。 ③ 車体工場では車体の自動溶接作業をおこなっていた。		
実施日・実施回数 及び実施時数	令和7年2月7日(金) 1回2時間		
外 部 講 師	区 分	<input type="checkbox"/> 産業実務家教員 <input type="checkbox"/> 産業連携CD <input checked="" type="checkbox"/> その他(依頼先職員)	
	所属・役職・氏名	トヨタ自動車東日本株式会社 大衡工場 総務課職員	
教育課程への位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 総合実習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 課題研究 <input type="checkbox"/> その他()		
記 録 写 真			
実 施 果	① 製造ラインを見学することによって、自動車の組み立て過程を理解できた。..... ② ロボットによる部品運搬や自動溶接を見学することにより、作業の自動化を理解できた。 ③ 質疑応答でも多くの質問が出て、とても有意義な見学であった。		
実 施 課 題	① 見学に備えての事前指導の時間が必要である。 ② 農業機械科として科の特性をどのように生かしていくか。 ③		
備 考		

(※1) プログラム No. は予算等管理用『事業計画一覧表』の No. と一致させてください。

(※2) 産業実務家教員等に関しては、授業単元毎、月毎など作成区分を工夫ください。